

# ブロイラー銘柄別性能比較試験

養鶏研究所

## 研究のねらい

現在市販されている商業用鶏には各々特徴があり、ひなの選定は用途に応じた鶏肉を効率よく生産し、収益を上げるうえで重要な要因の一つとなっています。

本年度はチャンキー、コップ、はりま2号の3銘柄について比較試験を行い、過去10年間の試験成績についても検討しました。

## 研究の成果

### ■平成14年度試験成績

- ①育成率はチャンキー99%、コップ96%、はりま2号93%でした。
- ②49日齢体重はチャンキー3,293g、コップ3,170g、はりま2号2,723gでした。
- ③飼料要求率はチャンキー1.79、コップ1.80、はりま2号1.88でした。
- ④と体歩留まりおよび正肉割合は、チャンキーがそれぞれ90.8%、45.0%と最も良く、腹腔内脂肪割合はコップが2.4%と最も少なく優れていました。
- ⑤性能指数、収益指数ともチャンキーが最も良く、コップ、はりま2号の順でした。

### ■過去10年間の試験成績

- ⑥各銘柄とも49日齢体重、飼料要求率、性能指数等の能力の向上がみられました（図1、2）。
- ⑦チャンキーは育成率、飼料要求率および増体性に優れ、コップは増体性に優れ、はりま2号は腹腔内脂肪割合および可食内臓割合が高く胸肉割合が低い、という傾向が認められました。

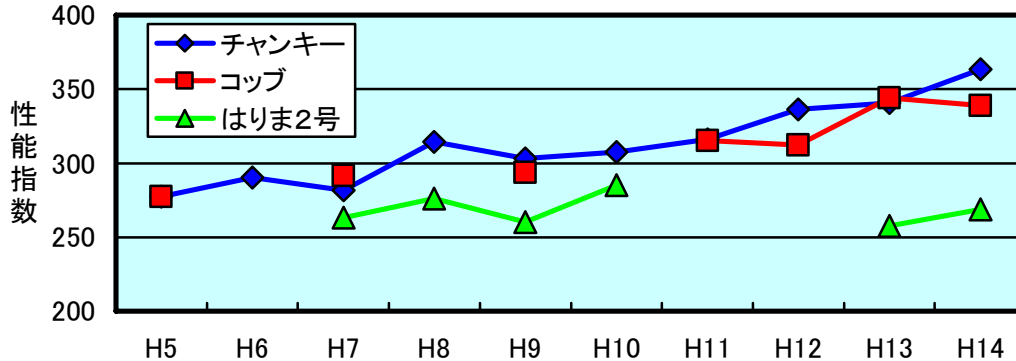


図1 過去10年間の性能指数

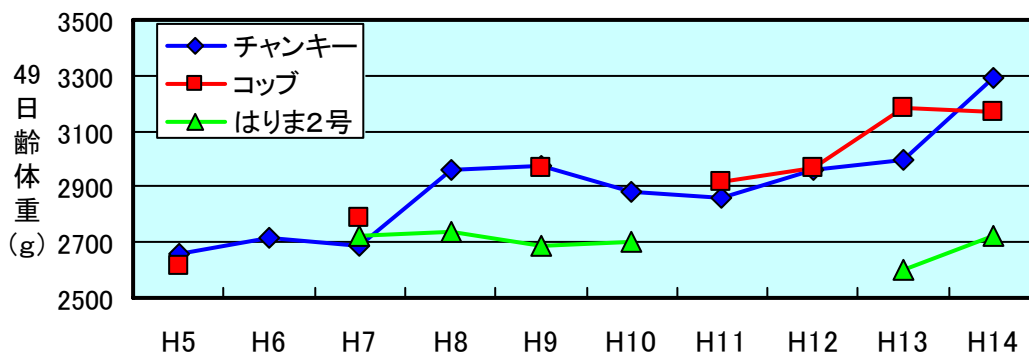


図2 過去10年間の49日齢体重

(問い合わせ先：0738-54-0144)